

だんごむし だいすき！

「だんごむし どこかな？」



「だんごむしがなかなかつかまえられるかな」「どうすればつかまえられるかな。」自分達なりに考え、追いかけて続け、捕まえられるようになりました。

♥どうやってつかまえるの？
★えほんみたいにはっぱのしたにいるのかな？

♥おうちのおそうじをしますよ～
◆やさし～く やさし～く
◆ちょっとだけおひっこしね

「だんごむしのお世話をしよう」



だんごむしのお世話をしていく中で「優しく触らないと痛いね。」と2人で虫に対して思いやりの気持ちが出ていきました。

「ゆうえんちをつかってあげよう！」



身近にある素材（枝や松ぼっくりなど）を自分達で集めに校庭へ行きました。「こんなの作りたい。」とイメージを膨らませ、遊園地づくりを楽しみました。



♥だんごむしさんのおうち せまいね…
★あそぶばしょをつかってあげたら??
★めいろは？すべいだい？
★がらがらどんのはしもつくろう！！

♥いっぱいあそんでね！！
◆あっ！！ゆうえんちでまいごになっちゃった！！
◆がらがらどんのはし、わたった！！
◆あしのうら かわいいね！！

「だんごむしといっしょにあそぼう！」



だんごむしの意外な動きに一喜一憂する子ども達。今まで見えていなかっただんごむしの体や足の数など、新たな発見もありました。



毎日、子ども達と捕まえたダンゴムシにえさをあげたり、霧吹きで水をかけたりしてお世話をしました。世話を続けるとダンゴムシにどんどん愛着がわき、「もっと喜んでくれるように」と友達や教師と話しながら遊園地づくりに取り組みました。ダンゴムシが楽しんでくれるように考えを出し、試行錯誤しながら工夫して遊園地をつくる姿が見られました。ダンゴムシとたくさん触れ合うことで体の様子や動き方にも目が向き発見もありました。また、ダンゴムシとの楽しい活動を経験したことで、生き物に対する興味が深まったようです。その後、チョウチョ、バッタ、トンボ、オタマジャクシやカエルなど他の生き物にも自然と目が向き、自分から観察したり、触ったりする姿が見られるようになりました。これからもいろいろな生き物と触れ合い、興味を深め、命の大切さにも気が付くよう活動を進めていきたいと思ひます。